

令和3年度地域密着型金融に関する取組状況(R3年4月～R4年3月)

当金庫は、「地域と共生し豊かな街づくりに奉仕する。」「顧客に最良の金融サービスを提供し信頼に応える。」ことを経営理念として掲げ、創業以来培ってきたお客さまとのリレーションシップをもとに、地域金融機関としての機能発揮に役職員一同本気で取組み、「地域で最も信用、信頼される金融機関」を目指しています。

令和3年度につきましても、「顧客企業の経営改善等に資するコンサルティング機能の発揮」に一層注力するとともに、「地域の面的支援・活性化への取組強化」「地域や利用者に対する積極的な情報発信」の推進を通じて、引き続き金融仲介機能の発揮に向けて地域密着型金融の実践に積極的に取組んで参ります。

1. 顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮

(1) 日常的・継続的な関係強化に向けた取組み

融資	具体的取組策	通期取組状況
	<ul style="list-style-type: none"> 経営支援先に加えて、コロナ禍の影響が顕著な業種(宿泊業・飲食業他)について、モニタリングを行うとともに経営改善に向けた支援を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 経営支援先17先について経営改善計画の骨子に基づいた支援・助言をおこないました。また、主要な宿泊業者及び飲食店中心にヒアリング及びモニタリングを行うとともに、コロナ禍における売上・収益確保に向けた助言を行いました。

(2) 目利き能力の向上

人事	具体的取組策	通期取組状況
	<ul style="list-style-type: none"> 顧客企業のライフステージ等に応じた事業ニーズに対応できるよう、「目利き力」「コンサルティング能力」向上に向けた人財育成。 中小企業診断士の養成を継続して取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 通信講座「法人融資渉外基本講座」5名、「法人税申告書からアプローチする企業分析・融資提案講座」10名、「中小企業融資目利き力養成講座」1名受講 中小企業診断士養成の為、中企業大学校に1名派遣。令和3年9月に卒業し、中小企業診断士資格取得

(3) ビジネスマッチングの推進

業務	具体的取組策	通期取組状況
	<ul style="list-style-type: none"> 外部機関、業界ネットワーク等を活用したビジネスマッチングの推進 	<ul style="list-style-type: none"> 公財)日本中小企業福祉事業団(日本フルハップ)が主催するグルメ共有サイト「ふるさとほっぴー市場」に5社登録 信金中央金庫主催の「食の海外販路開拓オンライン商談会(セカ食)」に4社応募 信金中央金庫主催の「酒類海外販路開拓商談会」に2社応募 兵庫県信用金庫協会主催の「川上川下ビジネスネットワーク事業」へ10社登録、企業調査実施 宍粟市人財力会議主催の「食のオンライン商談会」に11社参加 県下信用金庫共同で「地元産品販売支援事業」を実施。当金庫取引先12社参加

(4) 創業・新事業支援、経営改善支援、事業再生、事業承継等に向けた取組み

融資	具体的取組策	通期取組状況
	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響の長期化が見込まれる中、取引先の企業体力に応じ、事業計画・改善計画の実行、事業承継等への取組を資金繰り面からサポートする。 	<p>令和3年度は一年を通して「緊急事態宣言」「まん延防止等重点施策」が発出されている状態が続き影響を受けやすい業種では企業体力の低下が顕著となっている。大半の企業がゼロゼロ融資により十分な資金を確保しているがコロナの影響を大きく受けている一部企業では条件変更の実施支援を行っている。事業計画・事業承継支援については随時相談に応じている。</p>
業務	具体的取組策	通期取組状況
	<ul style="list-style-type: none"> 医療・介護、環境、農林業等成長分野への継続的な取組 包括連携協定に基づく創業塾への参加 	<ul style="list-style-type: none"> 医療・福祉分野8件230百万円、環境分野4件31百万円、農業・林業分野3件40百万円の実行 宍粟市等との連携による「宍粟市創業塾」を8月23日から9月13日まで7回開催し創業を目指す事業者15先が参加 事業再構築補助金の事業計画策定支援を積極的に行い、5次公募までに56件の申請、21件の採択を得る

	(5)外部専門家・外部機関等との連携	
	具体的取組策	通期取組状況
業務	<ul style="list-style-type: none"> 積極的な外部機関との連携により、コンサルティング機能の強化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 取引先の補助金申請支援の為(株)エフアンドエムと包括業務提携契約、(株)ジャストコンサルティングと顧客紹介契約をそれぞれ締結。(株)ジャストコンサルティングへ4社紹介 兵庫県信用保証協会の外部専門家派遣制度の活用11社 JETRO(日本貿易振興機構)の海外展開相談事業に1社参加 兵庫県よろず支援拠点の活用2社 兵庫県立大学との産学連携技術相談へ2社持込み M&A支援のため信金キャピタル(株)との契約締結1社

2. 地域の創生・活性化支援への取組強化

	具体的取組策		通期取組状況	
人事	<ul style="list-style-type: none"> 「一般財団法人にしん地域振興財団」を通じて、地域創生・活性化に向けた積極的な取組を行う。 		<ul style="list-style-type: none"> コミュニティ活動助成事業(80万円)のうち、映画作成事業及び染河内森のようちえん事業に各10万円を助成 公共施設設備助成事業のうち、福祉施設建設募金に対し10万円を助成 青少年健全育成事業として、221万円を助成 	
	<ul style="list-style-type: none"> 地域自治体等と連携した地域創生・活性化に向けた取組 地域創生に係る取組において宍粟市と協調 		<ul style="list-style-type: none"> 宍粟市、宍粟市商工会との包括連携協定に基づく人財力会議において宍粟市内の中小事業者の人材確保を目的とした「JUMP UP SHISO」で、企業説明会の動画をオンデマンド形式により配信(令和4年1月～3月) 新型コロナウイルスへの対応として「地域応援定期預金」の取組を行い、各支店が所在する自治体へ寄付を実施(9月256万円) しそビジネスサポートの代替企画として、工業系はKKNet(大手企業と中小企業のマッチング事業)を活用し4社が出張ブラッシュアップ委員会に参加。また、食品系は「食のオンライン商談会」を開催し、11社参加(令和4年3月) 信金中央金庫が実施する地域創生推進スキーム「SCBふるさと応援団」の申請について、宍粟市と連携し取組み(令和4年2月寄付金受領) 	
総企				

3. 地域や利用者に対する積極的な情報発信

	具体的取組策		通期取組状況	
総企	<ul style="list-style-type: none"> ホームページやディスクロージャー誌等を活用した地域の取組の情報発信 ホームページリニューアルによる情報発信の充実 		<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度の「地域密着型金融の取組状況」をホームページとディスクロージャー誌で公表(7月) 令和3年度の「地域密着型金融の推進計画」をホームページで公表(7月) ディスクロージャー誌の刷新により、地域の取組みの情報発信の充実を図る(7月) 西播磨地域の中小企業103社を対象にした景気動向調査を実施し、調査結果を「にしん景況レポート」として公表(4月、7月、10月、1月) 情報発信の充実に向けホームページのリニューアルに取り組み。下期完了予定 	

4. その他地域貢献

	具体的取組策		通期取組状況	
人事	<ul style="list-style-type: none"> 地元の小中学校での金融教育活動の実施 就職希望者の高校生対象の当金庫への職場見学の実施 		<ul style="list-style-type: none"> 8月5日 山崎高校就職希望者 4名 職場見学 令和4年度、職場見学者のうち3名入庫 	

※「一般財団法人にしん地域振興財団」は、西播磨地域におけるコミュニティの形成及び地域の振興発展を図るため、コミュニティ活動、地場産業の活性化及び公共施設の整備などに対する支援を行い、地域社会の発展に寄与することを目的に、当金庫が基金の全額を拠出して設立された財団です。